

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	奈良教育大学	整理番号	1-2-135
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	現代的課題に対応する導入教育科目群の展開 －「考える力」「表す力」の育成をめざした教育者養成－		
申請単位	学部単位		
申請担当者	上野 ひろ美		
<p>(取組の概要)</p> <p>奈良教育大学では有能な教育者の養成をめざし、平成 11 年度の学部改組以来、専門性を視野に入れた教養教育科目としての導入教育科目群を設定している。特に学校教育教員養成課程の「学校教育基礎ゼミナール」と総合教育課程の「総合教育基礎論」とを課程の教育理念に即した導入教育の核として位置付けている。</p> <p>「学校教育基礎ゼミナール」は 1 回生全員 130 名対象の、ディベートを中心とした演習型の体験的授業で、現代的課題に対する問題意識、論理的思考力、表現力、組織力を育成する。「総合教育基礎論」は 1 回生全員 125 名対象の、環境・文化・情報・健康等と関わらせた教育の現代的課題に対する問題意識を培う講義形式の入門的授業で、思考力、表現力、行動力、想像力の獲得をめざす。</p> <p>いずれも 10 名前後の教員による TT 体制をとり、目的に即した教育効果を得、実践ならびに各年の報告書を公開してさらなる改善へとつなげている。</p> <p>その他の「情報機器の操作」「現代教師論」等の導入教育科目群も連動し「考える力」「表す力」の成果を上げている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>本取組は、有能な教育者の養成のために、学生に自ら学び方を学ぶ能力、十分な表現能力、コミュニケーション能力の向上をねらったものです。それらの能力向上は、教育界ばかりでなくひろく現代日本において大いに求められている課題です。それを達成しようとする全学的導入教育の科目群の設置には、多くの工夫と努力が認められ、他大学の参考となる特色性を持つものと考えられます。個々の授業についても、ディベート型演習、授業における学生のグループ化、チームティーチング、適切と思われる授業トピックの選択など他大学、高校、地域、企業などへの公開性を持つと思われれます。</p>			